

在校生インタビュー Vol.4

看護師をめざしたきっかけは？

7年前に耳鼻科のクリニックで医療事務として仕事を始めました。幼い頃から看護師という職業に憧れはありましたが、めざしたいと思うようになったのは、コロナが流行しだしてからです。

コロナ禍で不安を抱えながら来院する患者さんに寄り添う看護師の姿を間近で見て、「私ももっと患者さんを支えたい。事務員ではできない関わり方をしたい」という気持ちになり、看護学校への入学を考えるようになりました。

その思いを周りに相談したところ、院長をはじめスタッフも免許取得を勧めてくださり、「今しかない」と思いチャレンジすることにしました。



入学後の勤務時間は？

1年生の時は、毎日学校帰りにクリニックへ行き、診療が終わるまで勤務していました。午前中に授業がない日は、朝クリニックに行き、昼から学校、夕方にクリニックに戻るといった感じです。実習が始まってからは実習日以外で勤務しています。

家庭・学校・仕事の両立のヒケツは？

ヒケツは早寝早起きです。朝は5時に起床し、家事は基本的に全て朝に済ませています。勉強も家族が起きてくるまでの時間に行うスケジュールにし、学校と仕事を両立させています。



実習でがんばっていることは？

受け持った患者さんとコミュニケーションをしっかりと図り、多くのことを情報収集できるようにがんばっています。

患者さんを知ることで、その人に合った環境づくりや、その人自身に合わせる看護の大切さを実習で学びました。



先生はどんな感じ？

実習担当の先生とは一緒にいる時間が長く、先生の看護観を話してもらったりすると、看護師の先輩として接して下さっているなど感じます。

学生紹介

医療高等課程2年 Yさん(40代)

ご主人と3人の子どもさんがおられるYさん。卒業後は現在勤務しているクリニックで、准看護師として働く予定とのこと。「クリニック勤務の魅力は？」の質問に対し、「地域の患者さんに長く携わり、身近で生活を支えることができる点が魅力です」と答えてくれました。

趣味はサックスの演奏で吹奏楽団に所属し、毎週練習に行かれています。定期演奏会や地域のイベント、幼稚園、施設などを訪問され、素敵な音色を届けておられます。

